

今回の受診時定額負担制度導入の切り口は、低所得者層の自己負担分の軽減という誰もが反対できない趣旨である。これでは厚生労働省の準備したテーブルに医師会もつかざるを得なかった。高額療養費制度の改革は低所得者に配慮するとの名目だが、一方では他の患者の負担を増やすことになり、結局は社会保障制度が後退することになってしまう。

受診時定額負担制度の反対をするのは当然だが、同時に高額療養費制度の危機を、国民や医療関係者は言われるがまま後始末、尻拭いをするのではない。国の無策を国民や医療機関に押し付けられてはたまらない。医師会はその事実を国民に知らせることが肝心と考える。

以上、高額療養費制度の見直しと受診時定額負担について解説と私見を交えて説明した。

資料

1. 社会保障・税一体改革成案 平成23年6月30日
2. 第45回社会保障審議会医療保険部会 資料7 平成23年9月16日
3. 第46回社会保障審議会医療保険部会 資料2 平成23年10月12日
4. 「社会保障・税一体改革成案」に対する日本医師会の見解 平成23年8月11日
5. 第7回国民医療推進協議会総会資料「受診時定額負担」に反対します 平成23年9月23日
6. 日医ニュース第1202号 平成23年10月5日
7. 日医ニュース第1203号 平成23年10月20日
8. 日医ニュース第1204号 平成23年11月5日
9. 日本の医療を守る道民協議会第9回総会資料「社会保障と税一体改革の問題点について」平成23年9月5日

平成23年秋の叙勲・褒章受章者（北海道医師会員）

先般、平成23年秋の叙勲・褒章受章者が発表され、当会会員で以下の方々が叙勲の榮譽に浴されました。ここに受章者の方々のご功績をたたえ、謹んでご芳名を掲載させていただきます（敬称略）。
受章者各位には、心からお祝いを申し上げます。

◇旭日双光章

牧野 正直 元(株)宗谷医師会 会長
保健衛生功労

◇瑞宝中綬章

秋野 豊明 元札幌医科大学長
教育研究功労

◇瑞宝双光章

近藤 益夫 元丸玉産業(株)津別病院長
保健衛生功労